

第6話 台本を練り上げる

(生徒Aが授業中に隠れて本を読んで、「うっ、うっ」と泣いている)

生徒B: おいおい、お前何を泣いとんねん。(横から鉛筆で突つつく)

こんな感じで始めて、最後に先生に怒られるまでの台本を作り、早速K山と合わせてみた。

聞き取りにくい言葉、しゃべりにくい言葉は言い換える。例に挙げるものは、分かりやすいものにする。観客が不快に思う言葉づかいは避ける。そして「書評漫才」なので、本を紹介出来ているか、その本を読んできたと思わせているか、を考える。最後に3分に収まるように余計な言葉は削る。

その後、職場の人に見てもらい、ダメ出しをもらって修正を加えて台本が完成。やっとデモ動画の撮影に入れるぞ。

これで野望に一步近づいた！ 続きは会場で